

平成26年(2014年)4月7日

冷凍食品新聞



新滑川営業所、アサヒオートサービス(株)新工場の
共同新社屋。燃料備蓄も増強した



横塚社長

アサヒロジ 新滑川(営)が始動 自社車両整備万全に

アサヒロジステイクス(株)
(本社・埼玉県比企郡嵐山
町、横塚元樹社長)は、3
月28日、埼玉県比企郡滑川

町月の輪の滑川営業所敷地
に竣工した、滑川営業所
(土屋正司所長)の新社屋
並びに車両整備のグループ
企業、アサヒオートサービ
ス(株)(同社長)の滑川新工
場開所式を開催した。
冷凍車両73台(10t・2
t)を擁し、手狭となった
営業所の新築工事とも

に、420坪強の建屋によ
りアサヒオートサービス工
場は従来の2.5倍の規模、
処理能力3倍と充実して、
車両の自社整備・車検に対
応。外部の整備受託事業も
開始する。

また、同時に、燃料地下
タンクを70k1増設して1
00k1とした。3・11大
震災後に燃料が入り困難と
なったことを教訓にしたも
ので、これによって全社の
ガソリン備蓄量は240k
1となり、関東22拠点、7
21車両が10日間稼働でき
る体制となる。さらに、屋
根には太陽光パネル(19
2枚、発電容量47kw)を
設置した。

開所式で挨拶した横塚社
長は、「業界は人材不足が
いわれているが当社は深刻
にはなっていない。人材を
人財に育てる仕組みづくり
に努めている。365日、
外食、スーパー、CVS等
1万店舗へ、命に直結する
食品配送の重要な仕事を担
う。車両は必要以上の整備
をしてジャストインタイム
を守る。来年は会社設立60
周年。人財を育成して次の
展開へ」と語った。
柳克実滑川市副市長をは
じめとする祝辞に続き、施
工関係者へ感謝状を贈呈。
(一社)埼玉県トラック協
会の鳥居伸雄会長が乾杯発
声に立ち「協会前会長は、
横塚正秋会長。6期12年を
務めて頂き、『依存せず自
分の会社は自分で守る』と
元気を頂いた。県内一の会
社であり、我々の目標。埼
玉から全国へ発信を」と述
べ、杯を挙げた。
中締め挨拶をした横塚正
秋代表取締役会長は、「食
品をお届けする使命を全う
するためには予防整備が重
要と勉強してきた結果が今
日。第三次創業期を担う新
社長が就任して1年にな
る。ピンチをチャンスにす
べく、本当の意味での指
導を皆様をお願いしたい」とした。